

留学先国名 : カナダ

留学先学校名 : Gastown Business college

留学期間 : 平成 28 年 3 月 24 日 ~ 平成 28 年 12 月 21 日

自分は約9ヶ月間カナダ、バンクーバーで語学留学の経験をしてきました。初めの3ヶ月間は語学学校、その次の3ヶ月間はビジネス学校、そして最後の3ヶ月間はカナダの企業でインターンシップをしていました。

語学学校では午前と午後のクラスでスピーキング中心のクラスを選択し、積極的に交友関係を作ったり、学校のサッカーチームや観光のプログラムにも参加しました。

また、スピーキングのほかに、カナディアンプロナウンスエーションや、グラマーのクラスもとっていました。

学校を通して全体的に日本人、韓国人、ブラジル、メキシコやサウジアラビアの生徒が多く、毎日の英語での生活はとても充実していました。

語学学校で一番最初にしたことは、友人作りでした。

クラスが一日で3クラスあり、すべてのクラスで友人を作るようにし、話すようにしました。

また、毎週末テストがあり、クラスでのレベルアップのため復習などはやるようにしていました。

週末は学校の友人やその友人らと観光やハイキング、遠出など、毎週末出かけていました。

バンクーバーは基本的に都会ですが、自然に囲まれていて、ビーチや絶景ポイント、有名な山も多く、またダウンタウン内でのイベントも多く楽しんでいました。

バンクーバーではほぼ毎月何かしらイベントやフェスティバルも行われていたので休日も充実していました。

様々な文化が入り混じっている街なので、イタリアンフェスティバルやジャパンフェスティバル、プライドパレード。

またハロウィンナイトやクリスマスのイルミネーションなど季節のイベントも多かったです。

自分のスピーキング力が上がったと実感したのは一か月目くらいでした。

英語のスピーキングの力を付けようと、意識していたことは、周りにいるネイティブの単語の使いまわし方、スラング、など、盗める所を見つけて自分のものにしようとしていました。

今週はこのワードを意識して会話にその言葉をよく使うようにしようとか、授業中や友達との会話やレストランでの会話でも使えると思ったワードを iPhone にメモしていました。

耳は慣れてくるので問題なく聞き取れるようになりましたが、スピーキングは自分がどれだけ話すか次第なので、カナダ人の友人も作るようにして自分から英語を話す機会を作っていました。

ホームステイでも家庭が優しくわからない表現や自分の発音などを直していただいたりしていました。

実は、ホームステイに関しては、自分は最初の家庭が合わなくて一か月で別のホームステイにチェンジしました。ホームステイに関しては食事だけ面倒見てくれてそのほかはほったらかしの家もあるようで、僕の場合はそのような感じで朝食も自分でトースト2枚だけ渡されて焼く感じで人当たりも不快だったのでエージェントに相談し変更しました。

変更前はイタリア系のカナダ人の家庭でしたが変更後はフィリピンの家庭でした。

変更後の家庭は面倒見がとてもよく食事もよくしていただいたり、ホームパーティーに呼んでいただいたりしてとても良かったです。

ホームステイで少しでも悩んだりしたらすぐエージェントや周りの友人らに相談することをおすすめします。これが普通と書いていてもほかの家と比べてみたら違う点などもあると思うので一人で悩まないほうがいいですし相談すべきだと思いました。

語学学校を卒業した後はビジネス学校でカナダでのビジネスの基礎や、プレゼンテーション、ディベートなどビジネスに関する基礎を学びました。

授業はもちろん英語でしたし、なにより、プレゼンテーションの作成、資料集め、発表もすべて英語ですることにより、この期間に自分のスピーキングの力がものすごく伸びたことを実感しました。

プレゼンの内容も自分で架空のブランド、商品を作成して、どのようにプロモーションするか、顧客のターゲットやマーケティング、PR をどう行うかなど、本格的にビジネスを学ぶことができました。

学校自体が小規模でクラスも少なかったので先生方の面倒見もよく、授業も濃い内容でした。

カナディアンビジネスの基礎である LinkedIn のプロフィール作成や、レジュメや、マーケティング、プロモーション、ブランディングの基礎も授業で学びました。

また、レジュメの作成や SMART GOAL の作成を学ぶことによって、行き当たりばったりでしか考えることができなかった自分の考え方やゴールの設定を改めることができました。

語学学校では学べなかったことがビジネス学校にはまたたくさんあり、とても充実し、忙しく過ごしていました。

もし語学学校だけで満足しない後輩がいたら、ビジネス学校は本当にためになるのでおすすめしたいです。

そして最後の三か月はビジネス学校のカリキュラム内の、カナダの企業へのインターンシップでした。

学校のカリキュラム内といっても企業のリサーチや面接の手配、電話やメールでの問い合わせはすべて自分で行いました。

一か月かけて企業のリストアップ、電話や Email での問い合わせ、面接手配などを自ら行いインターンシップ先の企業を探しました。

カナダのマーケティングやプロモーションを行う企業など 20 社程リストアップして、自分が最終のインターン先として選んだ企業はその時 2 つあり、一つは地元バンクーバーで一番大きなトレンドを扱うイギリスに本社を置くラジオステーション、もう一つは、Broadband TV (以下 BBTV) というカナダでも有数の上場企業でした。

自分は将来、洋楽やセレブリティニュースを扱う海外のラジオ局や PR の仕事、ライターやブロガーを目標としてそのためにつながる経験ができるようにその二つの企業をリストアップしてコンタクトをとりました。

結果としてラジオステーションでは生徒のインターンの受入れがなく、BBTV でインターンシップをすることができました。

BBTV はカナダ、バンクーバーに拠点を置く 2005 年設立、社員 400 名以上の世界最大の MCN サービスを展開するグローバル企業です。

MCN とはマルチチャンネルネットワークといって、YouTube のコンテンツマーケティングや YouTuber のマネジメントなどの動画再生に関する収益や収益配分などをまとめるビジネスです。

近年では多言語に対応するため、ドイツ、フランス、ブラジル、メキシコ、そして日本のマーケットを展開しています。

僕はそのインターナショナルチームのジャパンマーケットのセールス、オーディエンス開発のアシスタントとしてインターンシップを行うことができました。

ジャパンマーケットには日本人スタッフも5名ほど在籍していましたが、面接やメールのやり取りなどはすべて英語でした。

アシスタントとして働く間は日本語でやり取りしていました。基本仕事はすべて英語で自分は主にセールスのドキュメントの管理、アップデート、資料の翻訳、オーディエンスデベロップメントといった新たなパートナーのリストアップをしていました。

このMCNは動画媒体が日常的に普及した現在ならではのビジネスでマーケティングやプロモーションが最新で自分の将来したい仕事にすぐつながりましたし、学ぶことが多く日々が本当に濃かったです。

また、ほかのチームとの会合やランチ、ディナーなどにも顔を出し、たくさんの友人やネットワーキングを作ることができました。

ネットワーキングは日本でいう人脈やコネクションで、海外では学歴よりも職歴のジャンルやスキル、なによりネットワーキングで仕事を得ることが常識です。

そのため、過去に音楽関係の企業やプロモーションをしていた人と会社内でつながることができました。

また、自分は海外での音楽業界のPRやラジオステーションでの就職活動を考えていて、その分野に詳しい方たちともつながることができました。

ここまで将来のことを考えることができたのも、カナダでも有数の企業でインターンを経験でき、たくさんの人に出会えたからだと思います。

留学を通してやはり一番大きかったのはこのインターンシップとビジネス学校での経験でした。

海外志向がある方はビジネス学校でビジネスを学び、海外でのインターンシップをおすすめします。

自分が留学していたバンクーバーはオフィス街も多いですが、留学生やカナダの地方の生徒が大学のために出てきたり、またイミгранトも多く、観光がメインの街でした。

そのためいろいろな人種や人々と出会うことができ、留学の街としてとても良い環境でした。

自分の知り合いでエアライン関係でインターンをしていた生徒も多くて、空港がダウンタウンから近いのも良い環境ではないかと思いました。

インターンやビジネスに特化して海外留学を考えるなら同じカナダでもトロントやモントリオールがお勧めかなと思いました。

しかし、自分のように海外の長期滞在が初めての人には、住みやすく、とても良い街でした。

この留学の経験は間違いなく人生で一番大きな経験でしたし、ターニングポイントでした。

この経験をいかして、来年はバンクーバーや海外での就職を目指して頑張っていきたいと思います。